

# レジメン名称 (FOLFOXIRI (アプレピタントあり) q2w)

大腸癌

ID \_\_\_\_\_ 患者氏名 \_\_\_\_\_ 様 (性別 \_\_\_\_\_)

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 年齢 \_\_\_\_\_ 歳 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 2 週間	
		Day 1	2 3 …… 8 …… 15
イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>	↓	
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	↓	
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	↓	
フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	↓	1 日目から 46 時間持続投与
パロノセトロン 1V、デキサート(3.3)2A		↓	
デカドロン(4)内服(必要時)	1~2 錠 1×朝	×	↓ ↓ 2, 3 日目に内服
アプレピタント(内服)		↓ ↓ ↓	
1 日目: 1 カプセル(125)下記の通りに、2, 3 日目: 1 カプセル(80) 1×朝食後			

レジメンオーダー以外に必要な処方

Day1~: アプレピタントセット 1 シート、1×朝食後、1 日目はレジメン通りに

必要時: Day2, 3: 内服 デカドロン 4~8mg 1×朝食後 2 日分

### 注意事項

オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与です。

投与方法: 1 日目~		
1	内服 アプレピタント(125) 1C <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">点滴開始 30 分前に内服</span>	
2	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アプレピタント内服 30 分後より開始</span> 生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、メインルートを止め	
3	パロノセトロン(0.75mg/5mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、生食 100 mL 30 分かけて点滴、下の側管から投与	
4	<u>イリノテカン</u> _____ mg, 生食 250mL 90 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与	
5	<u>レボホリナート</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 500mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、下の側管から投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オキサリプラチンと同時に開始</span>	<u>オキサリプラチン</u> _____ mg, 5%ブドウ糖 250mL (必ず 5%ブドウ糖で) 120 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レボホリナートと同時に開始</span>
6	2 の生食を使用し、ウォッシュアウト、ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄	
7	<u>フルオロウラシル</u> _____ mg, 生食、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">全量 210mL</span> 5 mL/時、46 時間かけて、ケモセーフセットを外して、インフューザーポンプにて投与	